

製品名: 因子 XIII B ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab10788

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	F13B
別名	F13B; Coagulation factor XIII B chain; Fibrin-stabilizing factor B subunit; Protein-glutamine gamma-glutamyltransferase B chain; Transglutaminase B chain
遺伝子 ID	2165.0
SwissProt ID	P05160
免疫原	抗血清はヒト F13B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

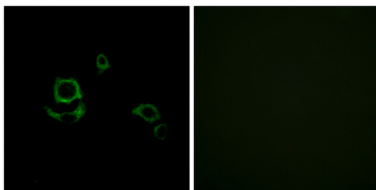
この遺伝子は、血液凝固因子 XIII B サブユニットをコードします。血液凝固因子 XIII は、血液凝固カスケードにおいて最後に活性化さ

れる酵素原です。血漿因子 XIII は、2 つの A サブユニットと 2 つの B サブユニットからなるヘテロ四量体です。A サブユニットは触媒機能を持ち、B サブユニットは酵素活性を持たず、血漿担体分子として機能する可能性があります。血小板因子 XIII は、血漿由来のものと同じの 2 つの A サブユニットのみで構成されています。カルシウムイオン存在下でトロンビンによる活性化ペプチドの切断により活性化されると、血漿因子 XIII は B サブユニットを解離し、血小板因子 XIII と同じ活性酵素である因子 XIIIa を生成します。この酵素はトランスグルタミナーゼとして作用し、フィブリン分子間のガンマ-グルタミル-イプシロン-リジン架橋の形成を触媒し、フィブリン塊を安定化させます。第 XIII 因子欠乏症は、次のような疾患に分類されます。疾患: F13B の欠陥は、生涯にわたる出血傾向、創傷治癒不全、習慣性流産につながる可能性があります。機能: 第 XIII 因子の B 鎖は触媒活性はありませんが、A サブユニットを安定化し、トロンビンによるトランスグルタミナーゼの形成速度を調節すると考えられています。、オンライン情報: 第 XIII 因子のエントリ、オンライン情報: シンガポールのヒト変異および多型データベース、類似性: 10 個の Sushi (CCP/SCR) ドメインが含まれます。、サブユニット: 2 つの A 鎖と 2 つの B 鎖からなる四量体です。、

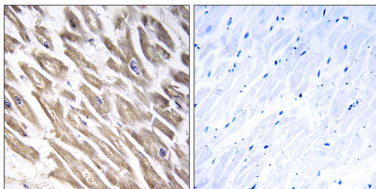
研究分野

補体と凝固カスケード;

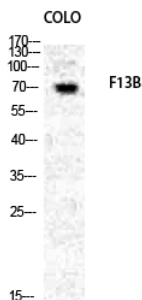
画像データ



F13B 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



F13B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



1: 1000 希釈の因子 XIII B ポリクローナル抗体を用いた COLO 細胞のウェスタンブロット分析